

## NEWS RELEASE

報道関係者各位

令和 5 年 9 月 26 日

株式会社 KiteRa

### 業界初、ChatGPT を安全に活用するための 企業向けガイドライン『生成 AI 利用規程』を新たに提供開始 ～ChatGPT など生成 AI の業務利用に際して懸念される 著作権侵害や情報漏洩等のリスクを低減し、業務効率化と企業のガバナンス向上を実現～

社内規程管理クラウドの企業向けサービス「KiteRa Biz（キテラビズ）」と、社労士向けサービス「KiteRa Pro（キテラプロ）」を展開する株式会社 KiteRa（代表取締役社長 CEO：植松隆史、本社：東京都港区、読み：キテラ、以下「当社」）は、業界初となる、ChatGPT を業務上で安全に活用するための企業向けガイドライン『生成 AI 利用規程』を新たに提供開始します。これにより、企業は、著作権侵害や情報漏洩等のリスクを低減し、安全に生成 AI を利用できる環境を整備することが可能となるため、社内の業務効率化と生産性の向上、企業のガバナンス向上を実現します。



## ■ 企業向け『生成 AI 利用規程』提供の背景

近年、様々な場面で ChatGPT などの『生成 AI』が普及しています。生成 AI は今後も進化し、社会生活やビジネスシーンで広く活用される有意義なツールとなると考えられます。

しかしながら、利用方法によっては、**著作権侵害や情報漏洩、誤情報の拡散**といったリスクも抱えています。リスクを十分に理解した上で利用していくことが求められている今、生成 AI の利用に関する独自のルールやガイドラインを定める動きが官公庁や大学で広まっています。

その一方で、多くの企業では生成 AI をどう扱うべきか検討状況にあり、業務上での利用可否もあいまいであるなど環境が未整備です。従業員がリスクや社内のルールを把握しないまま独自の判断で生成 AI の利用を開始しているケースも見られ、このままでは著作権侵害や情報漏洩等の問題が発生しかねません。

こうした背景から、当社は、企業における生成 AI 活用のための環境整備を促進するため、業務上で生成 AI を利用する場合に押さえるべき法的な観点から著作権侵害や情報漏洩、誤情報の拡散といったリスクや対応策までを解説する『生成 AI 利用規程』を、業界で初めて提供開始します。これにより、企業は安全に生成 AI を利用できる環境を整備することが可能となります。

## ■ 企業向け『生成 AI 利用規程』について

企業向け『生成 AI 利用規程』とは、ChatGPT などの『生成 AI』を業務上で利用する際のガイドラインをまとめた規程です。本規程集には、桃尾・松尾・難波法律事務所パートナー弁護士の松尾剛行先生が監修した「解説」も備えています。

「解説」では、なぜ規程内で本項目を設ける必要があるのか、どのように自社に合った文言に規程を修正すべきかなどを解説しています。

企業向け『生成 AI 利用規程』は KiteRa Pro、KiteRa Biz をご契約の企業様において基本機能として提供いたします。

<p>責任者とする。</p> <p>第2章 入力段階</p> <p>第15条 事前設定</p> <p>1 生成AI利用者は、生成AIの利用設定にて、プロンプト（生成AIへの指示入力）に入力した内容を学習に利用させないよう設定しなければならない。</p> <p>第16条 入力できる情報の制限</p> <p>1 生成AI利用者が、生成AIのプロンプトに以下の情報を入力・アップロードする場合には、あらかじめ所属部署の長の許可を受けなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 個人情報</li><li>(2) 営業秘密その他会社の経営・営業・開発活動に関連する重要な情報</li><li>(3) 法令・契約等により利用目的や第三者への公開が制限されている情報</li><li>(4) 第三者が知的財産権を有する情報等</li><li>(5) その他、生成AIへの入力・アップロードが不適切であるとして、会社が別途定めた情報</li></ul>	<p>第3条</p> <p>解説 2023/08/24</p> <p>【規程の管理責任者の記載について】</p> <p>規程の数が増えてくると、規程の管理が煩雑になってくため、管理責任の明確化や、制定・改廃等の手続の標準化等を目的として、規程管理規程を作成します。この規程管理規程において、規程毎に管理責任者を定めることとしている場合、それぞれの規程に管理責任者の明記が必要となります。</p> <p>第3条第1項</p> <p>解説 昨日 15:32</p> <p>【責任者】</p> <p>本規程では、主に情報システム部の長が生成AIに関するルールや社内教育方針の策定を行うこととしておりますが、会社によっては法務部や総務部等がその任にあたる場合も考えられます。各社の事情にあわせて適宜編集してください。</p>
---	--

「解説」の一部

当社の企業向け『生成 AI 利用規程』によって、従業員一人ひとりの『生成 AI』に対する理解の向上が可能となり、業務利用におけるリスクが低減と、生成 AI 利活用による業務効率化が実現され、企業のガバナンス向上につながります。

今後も当社は人々が安心して働ける世界をつくるため、社内規程管理クラウド「KiteRa」の提供を通じて社内規程管理 DX を推進し、規程管理業務の効率化と企業のガバナンス向上の実現に取り組んでまいります。

#### ■ 当社代表 植松隆史のコメント

当社は「安心して働ける世界をつくる」をミッションとして掲げています。その実現のためには、安心して働くための明確なルールが不可欠です。そこで、就業規則をはじめとする社内規程管理クラウドサービス「KiteRa」を提供しています。当社はこれまでも企業のニーズに応える新機能の開発を継続的に行ってきました。そして今回、その一環として業界初となる企業向け『生成 AI 利用規程』をリリースいたします。

近年の生成 AI 技術の進展は、企業の業務効率や生産性の向上に大きな可能性をもたらしています。文章の自動生成やデータ解析など、多岐にわたる活用が期待される一方で、著作権侵害や情報流出、不正確な情報生成などのリスクも存在しています。こうした背景を踏まえ、当社は生成 AI を安全に利用できる環境整備が必要だと考えました。これにより企業は、著作権侵害や情報漏洩等のリスクを低減し、社内の業務効率化と生産性の向上、企業のガバナンス向上を実現します。今後も当社は、社内規程管理クラウド「KiteRa」を通して、人々が安心して働ける世界実現に向けて邁進してまいります。

#### ■ 企業向け規程マネジメントシステム「KiteRa Biz」について

「KiteRa Biz」は社内規程の作成、編集、管理および行政への申請プロセスをクラウド上で完結できる社内規程マネジメントシステムです。法改正への速やかな対応やグループ企業間の運用状況を一元管理することで企業のガバナンスやリスクマネジメントを向上させます。

サービス名：KiteRa Biz（キテラビズ）

URL：<https://kitera-cloud.jp/biz/>

提供開始：2022 年 7 月

## ■ 社労士向け規程業務効率化サービス「KiteRa Pro」について

「KiteRa Pro」は社労士の「規程業務を圧倒的に効率化」する社労士向け SaaS です。就業規則を初めとする社内規程に関する規程作成・改定業務から届け出まで一連の業務をクラウドで行うことができ、従来文書作成ソフトなどを用いて実施してきた業務プロセスを変革し効率化を実現します。2023年7月時点で全国 1700 以上の社会保険労務士事務所に導入されています。

サービス名：KiteRa Pro（キテラプロ）

URL： <https://kitera-cloud.jp/pro/>

提供開始：2019年4月

## ■ 株式会社 KiteRa について

「安心して働ける世界をつくる」をミッションに掲げ、安心して働くためのルール（仕組み）である社内規程を Technology の力で簡単に正しく運用できる社内規程作成クラウドサービス、企業向けの「KiteRa Biz」と、社労士向けの「KiteRa Pro」を展開しています。今後も社内規程を通じて誰もが安心して働くことのできる世界の実現を目指します。

名称：株式会社 KiteRa

所在地：東京都港区北青山 1-2-3 青山ビル 7 階

代表者：代表取締役 CEO 植松隆史

設立：2019年4月1日

事業内容：社内規程クラウド「KiteRa」の企画・開発・運営

URL： <https://kitera-cloud.jp/>

主要サービス：

社労士向け SaaS「KiteRa Pro」 <https://kitera-cloud.jp/pro/>

企業向け SaaS「KiteRa Biz」 <https://kitera-cloud.jp/biz/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 KiteRa

広報：坂上

携帯：080-4413-8095

E-mail： [pr@kitera.co.jp](mailto:pr@kitera.co.jp)